

お祭り鳥見歩き

芸と農の大共演 (6月14日) 住吉大社の御田植神事

やおとめまい ハ乙女舞

住吉大社の巫女8人による
田舞が中央舞台上で舞われます



金の扇に
菖蒲の造花

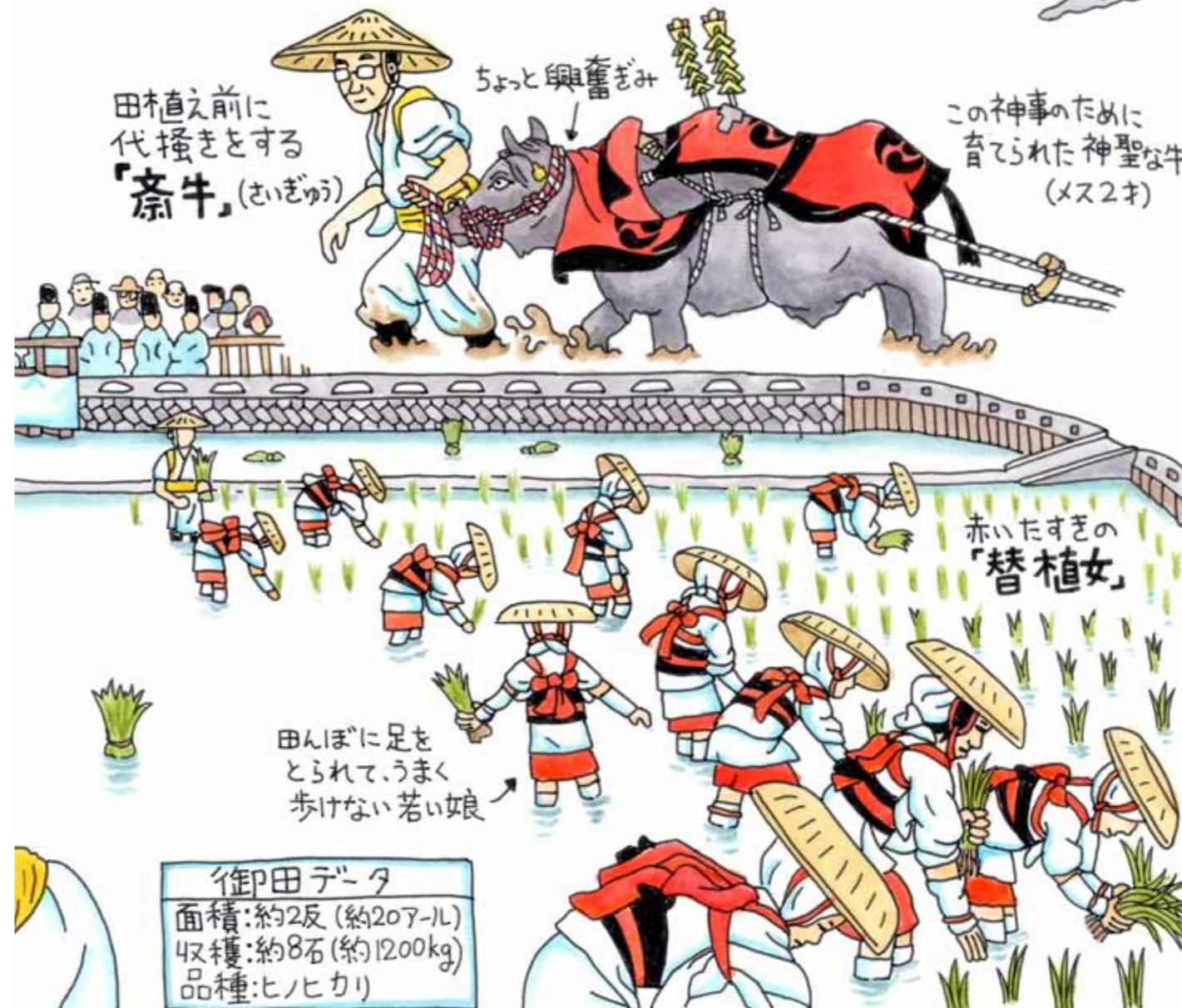
田舞はその歌の「節」が
「枕草子」に記されている
ほど古くからのもの



黄色いたすきは
一年を通して御田の
お世話をしている
「御田講」の方々

大阪、下町の神社で
行われるお田植えは、
清少納言も書き記した
古式ゆかしい神事です。

絵と文
溝ロイタル



田植え前に
代掻きをする
「齋牛」(さいぎゅう)

ちょっと興奮ぎみ

この神事のために
育てられた神聖な牛
(メス2オ)

赤いたすぎの
「替植女」

田んぼに足を
とられて、うまく
歩けない若い娘

御田データ
面積:約2反(約20アール)
収穫:約8石(約1200kg)
品種:ヒノヒカリ

盛大な祭りで実りの秋を願う

ジメジメした梅雨時に出かけるのは億劫なものだが、この時期にしか見ることのできないお祭りがある。それは田植えのお祭りだ。

稲作の国日本では昔から、田植えは農作業であると同時に田んぼの神様に豊作を祈願する行事でもあった。様式は違えど、田植えに関する祭りは全国

各地で行われていて、今回訪れた住吉大社の御田植神事はその中でもひととき華やかで盛大なものだ。

梅雨の最中の6月14日、幸運にも、この日の大阪は朝から晴天。神社の敷地内にある広さ20アールほどの御田はすでに水が張られ、梅雨の晴れ間の青空を映して光っている。

午後1時、本殿前にて神事に参加する人達全員がお祓いを受け、その後みんなで、行列をつくり御田のまわりを練り歩く。田植えをする替植女(かえうえめ)、神楽を舞うハ乙女(やおとめ)、武者行列、踊りの子どもたちなど、総勢300人位はいるだろうか。

中でもひととき目を引くのが、萌黄色

の装束と花笠を身につけた植女(うえめ)と呼ばれる女性たち。神職より早苗を授かり御田まで運ぶのが彼女たちの役目だ。昔は堺の遊女がこの役を奉仕していたそうで、明治に入ってから新町の芸姑さんが、そして現在は日本舞踊の踊り手の方々が引き継いでいる。どうりで立ち居振舞いがしなやかで美しい。しばし見とれる。

そんな行列の華やかさと艶やかさに興奮したのか、なんと御田で代掻きをしていた牛が突然暴れだし、綱を引いていた人を泥の中に引きずり倒すというハプニングが。さらに倒れた人に角を向け、今にも突き上げんばかりの勢い。止めに入った人も倒され一時会場は騒然となったが、幸い大事にはいたらずひと安心。神様の

おかげに違いない。

そしていよいよ御田植え開始。御田の北側からは赤い袴をしめた替植女の女性たち、南側からは黄色い袴をしめた御田講の男性たちが苗を植えていく。御田の中央に設けられた舞台では雅楽の演奏と唄にあわせ8人の巫女さんが神楽を舞っている。素朴だがゆったりとした優雅な舞いだ。

植女(うえめ)

「綿の花」と呼ばれる
食料のもの
魔除け
雷除けの
お守りでもある

「本殿祭の儀」で神職より早苗を
授かる植女



素足に草履

キレイです

植女の役は「上方芸能協会」
選出の日本舞踊の方々8名

午前10時ごろ
このような小合好で
神社にやります

住吉踊

神功皇后が西征より無事戻られたのを
奮迎して住民が足踊ったのが始まりだとか

稲の虫を追う
足踊りだとも言われ
ています

神の御前の神踊り
天長く地久し...



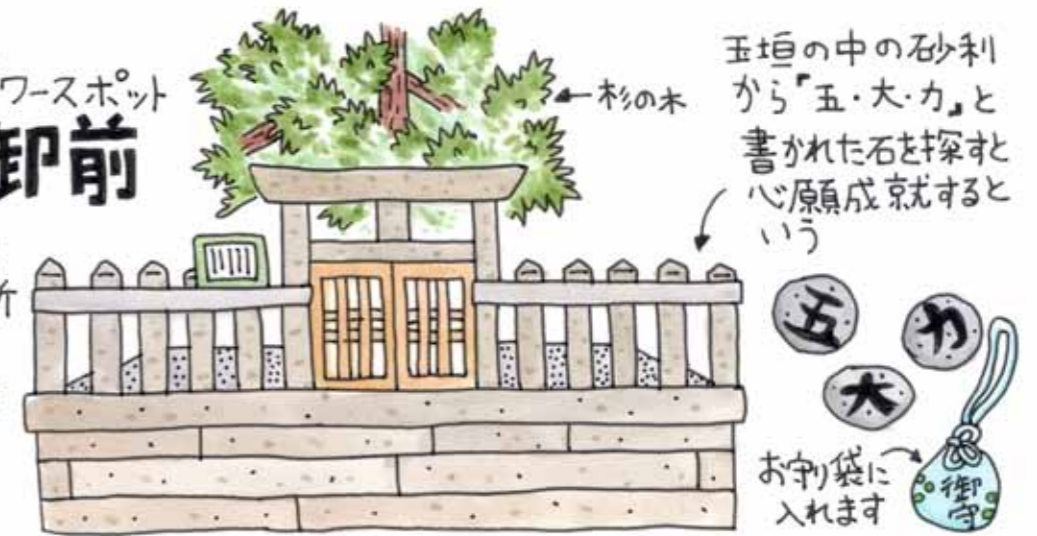
地元の小、中学校
の女の子たち

金鈴付きのうちわ
をタンバリン
みたいに打ち
ながら足踊る

住吉大社のパワースポット 五所御前

住吉大神を初めて
示したとされる場所

神霊をお迎えする
ところでもある



五垣の中の砂利
から「五・大・力」と
書かれた石を探すと
心原成就するとい
う

お守り袋に
入れます

次に雅楽がいきなり三味線の音に
変わり、昭和27年に創作されたという
新しい舞が御稔女(みとしめ)によって
披露される。装束は平安時代だが、雰
囲気は花街のお座敷風でおもしろい。
田植えには欠かせない雨乞いの舞いだ
そうだ。

その後、勇壮な風流武者行事、棒
打合戦、田植踊りなどが演じられ、最後

は小さな女の子が団扇を打ちながら飛
び跳ねるように踊る住吉踊り。指導師
(きょうどうし)と呼ばれる大人の男性
が大きな傘の柄を叩いて拍子を取りな
がら「エ〜 住吉さまの イヤホエ」と
歌う独特な節まわしが、一度聞いたらな
かなか耳からはなれない。この踊りが終
わる頃には、御田一面鮮やかな早苗の
緑色におおわれ、神事は無事終了。

田植えをしながら歌ったり踊ったり
するのは、苗に宿る穀物のパワーを増
すためだとか。これだけ盛大にやれば、
きっと立派に育つだろう。

稲は無農薬の合鴨農法で育てられ
るため7月には近くの幼稚園児たち
による「鴨入れ」の行事が予定されてい
るそうだ。これもおもしろそう。

【御田植神事】

毎年6月14日に穀物の豊かな実りを祈願する
儀式で日本三大御田植祭の一つ。3世紀に神
功皇后が田んぼを設け、御田を作らせたのが始
まりといわれている。当時と同じ格式を守り、華
やかで盛大な祭りとして知られ、田植えをしな
がら音楽を奏で、歌い、舞を踊ることで苗に宿る穀
物の力を増やすとされている。住吉大社では秋
に収穫された稲穂を神に捧げる「宝之市神事」
や、1年の穀物豊穰のお礼をする「新嘗祭(植
使)」などが行われている。

住吉大社HP
<http://www.sumiyoshitaisha.net/>

【住吉大社へのアクセス】

- 電車を利用
- ・南海鉄道
東海本線「住吉大社駅」から徒歩3分
南海高野線「住吉東駅」から徒歩5分
- ・阪堺電気軌道
阪堺線「住吉鳥居前駅」から徒歩すぐ
(路面電車) 阪堺線「住吉公園駅」から徒歩2分

